

向学館通信

2009・11・26

昨年から、世界的な経済危機が社会のさまざまな局面に深い傷跡を残しました。また、政治も新しい動きを見せています。社会への関心を強め、理解を深めてほしいと思います。ご家庭でも世の中の動きを話題にしてください。

冬期講習は日ごろの「おくれ」を取り戻す大事なチャンス。

毎年のことですが、この生徒は勉強が遅れているので、冬休みに頑張って挽回してほしいと考えている対象者ほど、休みに入ると遊んでしまうという傾向があります。とくに、英語の文法とか、数学の基礎的なこと、理科や社会など、時間のかかる勉強は、学校が休みの時しか補強する時がないのです。この時期をのがして学校が始まると、基本にさかのぼって学習するというチャンスを失います。だから、補強授業が必要な人は、冬休みに頑張ってください。

12月には、面談をします。その時に、生徒各人の補強科目や単元をはっきりさせて報告します。ぜひ、冬期講習を活用してください。

中3生対象に恒例の「志望校別5日間特訓」を行います。

中3生は、入試対策の一環として、志望校の過去の入試問題（5教科・5年間分）を5日間で行う「特訓」を実施します。中3のみなさんは、こぞってご参加ください。

この特訓の内容は、午前中に、各自の志望校の入試問題を5教科（1年分）受験し、午後は1時半から4時半まで、全員「1：2」でそのテスト結果の解説指導を受けるというものです。朝は、8時30分から開始の予定です。

この特訓は、次のようなねらいがあります。①1点でも無駄にしないよう、合格できる試験の受け方をマスターさせる。②志望校の入試問題の傾向を理解しその方向に沿った学習をさせる。③合格点をより確実にとるために、今後、入試までの期間に何を重点的に学習すべきかを明確にさせる。④長時間の集中的な学習をとおして、気持ちを切り替え、直前の受験勉強に対する集中力・持続力・精神力をつけさせる。などです。

日程は、12月26（土）～30（水）の5日間。（この間は、日曜も水曜も休みません）。申込を受け付けています。

中1・中2生は、数学、英語の「実力テスト」を行います。

中1・中2生の「向学館 実力テスト」は、年に3回（7月、12月、3月の3回）行っています。今回は、12月テストです。12月7日～12日までにテストを受けてください。科目は、英語、数学の2教科だけです。これは、学校のテストと違って、これまでに習った全ての範囲から出題しますので、本当の実力が分かります。

中3の理科・社会 直前演習について。

理科、社会は、普段はあまり勉強できない人が多いので、直前に、入試に「出そうな」ところを重点的に学習しようという特別演習です。

12月11日（金）～1月29日（金）までの金曜日、7回。夜1で理科、夜2に社会をします。一斉授業です。

大卒予定者の就職内定率が急低下。

今年の就職内定率は、大学が62.5%、短大が29.0%と、前年同期に比べて大学は7.4ポイント、短大が10.4ポイントも下落しています。このままだと、来春の大卒者の4割近くが就職できないという深刻な事態です。政府関係者も「就職環境は想像を絶するぐらい厳しい。就職氷河期に匹敵するか、それより厳しいと予想している」と述べたと、新聞は報じています。

昨年以来の景気悪化で、大企業は採用数を減らしています。一方、学生のほうは、先々の生活安定を求めて大企業志向を強めているといわれています。こうした中で、何社も何社もアタックして、それでもいい結果が出ずに、へとへとになるなっている学生も多いことと考えられます。前途ある青年たちにみじめで悲惨な思いをさせていることが、つらく悲しい思いがします。何らかの対策を講じて、この状況を切り開いてほしいと思います。